

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
所在地 〒135-0042
東京都江東区木場
3丁目18番10号
深川消防団本部
TEL:03-3642-0119
FAX:03-3641-4422

対談インタビュー



深川消防団

深川消防署

平山 敏夫 団長 × 高崎 剛彦 署長

岩 淵 平山団長、高崎署長、新年明けましておめでとうございます。

平山団長 明けましておめでとうございます。

高崎署長 明けましておめでとうございます。

岩 淵 団長、署長、昨年中はご指導ありがとうございました。早速ですが、お二人にとって、昨年はどのような年でしたか？

高崎署長 昨年は、私にとって、勤務環境に大きな変化があった一年でした。4月1日付で着任したのですが、当署は、東京消防庁管内の各消防署の中でも職員数がトップクラスの規模の大きな消防署であること、及び、本年開催の東京2020大会の競技会場等が各消防署の中で最も多く、関連する業務も非常に多いことから、様々な判断を求められることが多かったのですが、消防署長として非常に強いやりがいを感じる事ができる年でした。

平山団長 昨年は、消防団長として2年目を迎えるとともに4月1日付で深川消防署新署長として高崎剛彦署長が就任されたことで、より一層の連携を強化し、消防団と消防署が車の両輪となり、地域の安全安心を守るため積極的に活動した年となりました。その中でも、東京2020大会を迎えるにあたり、今まで以上に地域の防災力を向上させるため、消防団員の増員を目標

に掲げました。高崎署長からのご指導をいただきながら一年を通じ、防災訓練等のあらゆる機会でご全団員が団員募集活動に力を入れたことで、約38名の新人団員を確保することができ、目標を達成することができました。

岩 淵 いよいよ、来年は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されますが、消防署長・消防団長としての立場からどのようなことをお考えになっているかお聞かせください。

高崎署長 やはり「安全・安心に大会が運営されること」が、当署に託された最も重要な課題であると考えています。そのためには、各競技会場及び関連施設において「安全・安心に競技等が行なわれるように取り組むこと」と合わせて、大会期間中であっても、管内全域が従前どおり「安全・安心」に暮らせるよう、深川消防団の皆様と更に連携し署員一丸となって取り組む所存です。

平山団長 高崎署長が仰るとおり、大会運営の安全・安心と我々の地域の安全・安心を保つことが最大の重要事項であると考えています。我々消防団も通常の災害対応に加え、東京2020大会の運営中の警戒活動に参加する予定であります。高崎署長の指導のもと警戒活動に向けた準備をしっかりと整え、深川消防団として東京2020大会を成功させるため全力で取り組む所存です。

岩 淵 また、昨年は台風15号、19号など大規模な自然災害が発生し、改めて防災に対する意識が高まっていますが、お二人はどういったことが大切になってくるとお考えですか。

高崎署長 やはりこれまで様々な場面でお話をさせて頂きましたが、自然災害からの被害をできるだけ少なくするには、まずは「自らの命は自らで守る(自助)、そして自らの地域は自らで守る(共助)」という意識を多くの住民の皆様にご理解いただくことが大切だと思っております。そのためにも、消防署としては、これまで以上に、消防団及び地域の皆様と連携し防火防災訓練を推し進める予定です。

平山団長 昨年の台風で改めて確認させて頂いたのは、地域状況の把握と消防署隊との連携が大切であると感じました。地域の防災リーダーである消防団は、日頃の防火防災訓練等で地域住民の方々との連携を強化すること、地域の災害発生危険箇所を把握すること、これらの情報等を消防署隊と共有することで被害の軽減を図れると考えています。

岩 淵 お二人の今年の目標をお聞かせください。

高崎署長 昨年以上に「より多くの地域の皆様からお話を伺うこと」を目標にしています。着任以降、地域の多くの皆様からお話を伺い、管轄区域の歴史等、署長としての行政運営に非常に

参考となる情報を多く伺うことができました。ついては、本年もより多くの皆様からお話を伺いたいと思います。
平山団長 東京2020大会を中心とした主要行事において、深川消防団が地域に安全・安心を与えられるようにしっかりとした準備を行い、それぞれで力を発揮していくことです。

岩 淵 最後に、伝統ある深川地域で安全・安心な町のために活動している消防職員、消防団員へ一言お願いします。

高崎署長 深川消防署は明治14年に開署され、今年で139年目を迎える歴史と伝統がある消防署です。ついては、特に消防職員の皆さんには、同じく歴史と伝統のある深川消防団の皆様との更なる連携を通じて、地域の皆様に頼られる存在となるよう期待しています。また、消防団員の皆様には、消防署員との引き続きの連携を通じて、活動技術等を練磨頂き、地域の防災リーダーとして、更に活躍されることを期待しています。

平山団長 江東区の深川地区は、地域の風景に近代化を感じますが、伝統芸能やお祭りは区民の誇りで昔から変わらぬ人々の心意気と人情は変わらず受け継がれています。お祭りを受け継がれてきた地域への想いや人々の絆は素晴らしいと感じます。そのような中で消防署員と消防団員が互いを尊敬しあ

い連携し、地域の安全安心を守っていただければと思います。
岩 淵 平山団長・高崎署長本日はありがとうございました。

人事異動



副団長
平山 敏博

令和元年10月1日付で副団長に任命され、改めて重責を感じている次第です。副団長として、団長を補佐し深川消防団の活動を支えていきたいと思っております。

また、何時発生するかわからない大災害に備え、より一層地域の安全安心のため一生懸命頑張っております。これまで以上の団員各位のご協力を頂きますようよろしくお願い致します。



副団長
鈴木 常夫

この度、副団長に任命されました。32歳で消防団に入団いたしました。先輩方の指導を仰ぎながら本日に至りま

した。副団長としての抱負は、先輩方が築いてこられた深川消防団の伝統の踏襲です。副団長として団長を補佐し、深川消防署の指導を仰ぎながら活動していく所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。



団本部分団長
古田 保広

令和元年10月1日付で団本部分団長に就任致しました。

第10分団長を約9年間務めた経験を活かし、微力ではございますが、平山団長及び各副団長と呼吸を合わせ、深川消防団発展のため頑張っております。今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第10分団分団長
田島 ヒロ子

この度、10月1日付で第10分団長に任命されました。

甚だ微力ではございますが、一層の努力を致す所存でございます。何卒ご指導の程よろしくお願い致します。

江東区内消防団点検



令和元年9月22日(日) 私は、消防操練の指揮者として参加させていただきました。当日の天候が心配でしたが、幸いにも好天に恵まれることができました。消防署員の方

特別区消防団手話技能講習会

令和元年9月22日(日) 東京消防庁 消防技術安全所にて手話技能講習を受講しました。本講習は、消防団員が地域社会の中で聴覚障害のある方への理

(第6分団 長谷川 恵津子)

解、対応能力の向上及び災害現場等における活動の充実強化に向け手話技能講習を実施するものです。

聴覚障害者には、生まれつき耳の聞こえない方、補聴器を付けている方、軽度難聴の方及びほとんど聞

こえない高度難聴の方などがいます。彼らのコミュニケーション手段は、手話だけではなく、身振り手振り、表情、筆談、空書、補聴器及び通信機器等があります。

聴覚障害者が災害現場に遭遇した場合、周りの状況が把握できないため何が起きたかわからず、情報を得ようと慌ててしまいます。そんな時、我々は彼らに落ち着いてもらい、相手が何を伝えようとしているのかを理解しようとすると姿勢と、相手の正面に向かい合って何を伝えようとしているのか読み取るのが大切なのです。

災害現場で聴覚障害者の対応を行う場合は、正しい情報と素早い対応力が求められています。

(第8分団 城田 陽造)

特別区消防団機関科研修

令和元年9月29日(日) 東京消防庁 消防学校において、特別区消防団機関科研修が行われ、第8分団から2名が受講しました。

午前は、可搬ポンプ積載車の運行要領及びポンプの構造と水力学を学び、午後は、可搬ポンプ積載車の一般道走行要領及び消火栓等の各水利からの吸水要領等の訓練を行いました。

可搬ポンプ積載車の緊急走行要領は、サイレン及び赤色灯の点灯が必要です。サイレンを鳴動していても一般車両には意外と聞こえず、緊急車両が視界に入らないとサイレンに気付かず、交差点のどこから進入してくるのかが分からないという状況になり、緊急車両と一般車両等との接触事故が発生するとのことでした。また、走行時は、同乗者の協力を得て危険箇所を注意しながら走行することを再確認できました。

また、水利部署要領の訓練では、ポンプによる吸水から放水に至るまでの操作に主眼を置き指導を受けました。水利の種類や媒介金具の多さに驚き、各地域によって消火栓の構造の相違点等があることを学びました。各水利からの吸水時において、ポンプを操作するにあたり、団員のコミュニケーション

ンがすっかり取れていることがたいへん重要であると理解しました。教官の解りやすい説明のおかげもあり、よい研修となりました。

(第8分団 原澤 達文)

救命ボート取扱い訓練

令和元年

9月7日

(土) 門前

仲町の黒船橋乗船場で水災時を想定した救命ボート取扱い訓練を行いました。



訓練は、消防団員が25名参加し、ゴム製ボートとアルミ製のボートの2種類の救命ボートを使用して行われました。訓練内容は、各ボートの性能の確認、組み立て訓練及び航行訓練等の基本的な訓練を行いました。訓練に参加した各団員は、初めて行われた訓練に意欲的に取り組みました。今後も、消防署員と消防団員等が連携し、いざという時にスムーズな活動ができるように訓練を重ねていかなければならないと感じました。

(第7分団 藤田 享子)

エダージオ防災運動会
2019

エダージオ連合町会は、15町会、6、500世帯で構成された連合です。年間の最大行事は、毎年10月下旬に枝川小学校で実施される大運動会で、総勢650名前後の地域住民が参加しております。この運動会は、今年で35回目。ここ4年はパラリンピック競技(車椅子競技)も取り入れております。地元第9分団の皆様には、競技のお手伝い、テントの設営から各競技の道具の



出し入れ、その他色々な面で協力してもらっており、エダージオ連合町会としては、運動会開催に欠かせない存在となっております。本当に感謝あるのみです。

(豊洲地区町会自治会連合会)

会長 馬締 和久

令和元年10月27日(日)、秋晴れの中、枝川小学校の校庭で、エダージオ連合町会の防災運動会が行われました。東京都地域の底力再生事業として、防災訓練を交えたこの運動会は、今年で35回目を迎えました。「東京2020オリンピック・パラリンピック」を意識し、4年前からは、車椅子による競技も行われています。当日は、深川消防署枝川出張所・東所長、深川消防団・平山団長、鳩貝副団長も来場し、普段の訓練や、防災訓練指導等では見られない第9分団員の姿を見ていただくことができました。

(第9分団 岩淵 初美)

江東区民まつり
消防団員募集活動

今年も10月19日(土)、20日(日)の二日間、木場公園で江東区民まつりが行われました。頻発する台風や大雨の影響で、一時は開催が危ぶまれました



が、なんとか当日には雨も止み、無事開催となりました。江東区に住み約30年、年々参加者が増えてきているように思われるこの区民まつりで、私達第5分団は、深川消防署職員の皆さんと共に消防団員募集活動を行いました。展示用消防車の前で、深川消防団の可愛いクリアファイルと共にチラシを配布し、団員募集を行いました。防火服試着や消防車体験乗車の各コーナーで写真撮影をしたりと、好奇心旺盛な子供たちに楽しんでもらいながら、一緒に来られるご両親をはじめとする大人の方々に消防団活動の内容と消防団の存在を知ってもらいたい機会になりました。

(第5分団 梅内 美園)

台風による停電に於いて、
非常用発電機の使用事例

消防団の皆様はに於かれましては、今年10月に発生した度重なる台風や大雨の警戒お疲れ様でした。

令和元年10月12日(土)午後10時頃、台風19号の警戒中、第8分団の団本部が突然停電しました。すぐさま配備されている非常用発電機を操作し、本部の電源を確保しました。団本部のある東陽一丁目の西側半分ほどの照明が消えており、周囲の警戒を始めたところ、近隣の電線に飛来物が接触したとの事。消防署と連携し周囲の安全確保のため出動しました。

後日、近隣住民からは停電のため防犯面など含めて不安があったが、団本部の明かりがついていて安心したとの声も頂きました。非常用発電機は普段の整備の為、問題なく作動しましたが、常用しているわけではないのでバッテリーが上がりやすく、メンテナンスが欠かせません。深川地区では深刻な被害はありませんでしたが、他県や他地区では甚大な風水害が発生し、より一層の準備が求められます。

(第8分団 庄井 勤)

平野二丁目町会防災訓練

令和元年11月10日(日)、平野二丁目町会の防火防災訓練が町内の児童遊園で行われ、深川消防署員と第4分団が訓練指導を行いました。

訓練は、消火器取扱訓練、スタンバイパイプによる消火訓練、AEDを使った応急救護訓練のほか、炊きだし訓練も行われました。

最近、大型台風の直撃や沖縄首里城火災が発生した後で防災意識が高まっていた事もあり、参加者は普段以上に真剣に取り組んでいました。



「災害は、忘れないうちにやってくる」時代になってしまいました。防火防災訓練がありましたら、是非、積極的に参加していただきたいと思います。

(第4分団 正本 光生)

女性消防団員研修

令和元年11月30日(土)、「令和元年女性消防団員研修」が東京消防庁消防学校に於いて行われました。東京都全域から女性消防団員約70名が集まり研修に参加しました。講師には、「富山県小矢部市消防団女性分団団長 嶋田幸恵氏」と「川村学園女子大学准教授 佐藤哲康氏」をお迎えし、午前は

女性消防団員の役割と実務及びメンタルヘルスについての講義を受けました。午後には、意見交換会が行われました。深川消防団は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」会場を多く抱える地域として、多くの来場者を迎えるに当たり各種訓練が強化されていること。特に女性消防団員は、消防署の救急隊員と一緒にファーストレスポnder講習を受講するなど、応急救護訓練指導力向上に対して力を入れていることなどをお伝えしました。また、被災者や傷病者に対しての細やかな気遣いや、女性に対する救護対応



も女性消防団員に求められるものだと考えます。その後、消防学校教官の指導の下、応急救護・ポンプ活用訓練などが行われ、気が付けば日が暮れる程でしたが、楽しくも有意義な訓練が行われました。

(第9分団 岩淵 初美)



実践的活動訓練



12月1日(日)、深川消防署において実践的活動訓練が行われました。本訓練は火災や地震等の災害を想定した訓練を行うものですが、今回はオリンピック・パラリンピック(東京2020大会)前ということもあり、それらを見据えた訓練となりました。まず、最初に行った訓練がコミュニケーションボードを活用した情報収集訓練です。東京2020大会では多くの外国人観光客が東京に来ることが予

想されますが、それらの人を救護する際に大きな壁となるのが言葉の違いです。本訓練では、けがや病気の症状を聞き取るための情報が英語とイラストで書かれたコミュニケーションボードを活用し、言葉が通じない場合でも要救助者の症状を聞き取れるように訓練を行いました。

次に行ったのが手話の学習です。東京2020大会では聴覚障害を持った方も大会会場に来られます。そのため、当日は挨拶等の簡単なものから災害の状況等を伝えるための実践的なものまで様々な手話を学びました。

このほか、放水訓練やホースの延長訓練等も行いましたが、訓練全体を通じて東京2020大会に必要な知識や心構えを確認することができました。

(第1分団 中村 哲也)

深川消防署職員の紹介

消防署及び各消防出張所の部隊を併せて大隊と呼び、3交替制で勤務しております。それぞれの大隊の責任者を大隊長と呼びます。



深川消防署2部大隊
新大隊長
秋葉 俊幸

深川消防団の皆様、明けましておめでとうございます。昨年の10月1日付で2部大隊長に就任しました秋葉です。よろしくお願いたします。昨年は台風15号、19号が上陸し、深川地区でも災害が多く発生し皆様にとっても大変な年だったと思います。そして本年は、東京2020大会の警戒、富岡八幡宮例大祭の警戒とさらに大忙しの一年になると思います。消防団、消防署と一丸となり、深川の安全安心のため、力を合わせて一緒に頑張りましょう。

江東区総合防災訓練

令和元年11月17日(日)江東区総合防災訓練が区立枝川小学校に於いて行われました。来賓には、江東区・山崎区長、佐竹副議長、深川消防署・高崎署長、深川消防団・平山団長が来場しました。訓練では、27団体が、防災訓練を行いました。初期消火・担架搬送・放水訓練など、9か所での訓練を行い、第9分団も各箇所指導を行いました。今回の防災訓練では、スタンブラリー形式となっており、紙を片手に防災リュックを背負いながら訓練する子供たちが多く見られました。

体育館では、避難所運営協力本部の模擬会議がおこなわれ、震度6強の大

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

<https://www.teikoku-soko.jp/> E-mail:info@teikoku-soko.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 帝国倉庫
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所

株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)
<https://www.mutoh-u.co.jp/>
支店・出張所/東京中央・東京西・城南横浜・千葉・さいたま・栃木・前橋・新潟・大阪



地震が発生したという想定で、加藤校長先生、災害協力隊、町会、自治会等、PTA、第9分団も参加し、本番さながらに、真剣に会議が行われました。多くの議題の中で、まずはじめに、災害時は「情報の共有こそが最も大事である!!」との話が出ました。

普段からの地域との連携がこういった、いざ!という時に共助の力となつて大いに役に立っていくのだと思えます。大人から子供まで、多くの方が参加した今回の総合防災訓練。「ここにいる皆さんは、きちんと訓練されたので大丈夫ですね!」との区長の言葉に参加していた地域住民も最後には安堵の笑顔に。訓練終了後には炊き出し訓

防火防災訓練に参加できない子育て世代、特に日中の地域防災力の要となりうる主婦層をターゲットとした防火防災訓練「防災デリバリー」を毎月「8」

in 深川ギャザリア
防災デリ

練に来て下さった、陸上自衛隊のカラーに会場にいた皆さんが舌鼓を打っていました。江東区・地域・消防署・消防団とが連携し、自助・公助・共助と三助が助け合う貴重な防災訓練体験をする一日となりました。

(第9分団 岩淵 初美)



住宅用火災警報器を交換しましょう!

地震に備える 家具の転倒落下移動防止対策

「うちは大丈夫が不安...」 そんな時は!

無料 住まいの防火防災診断

気づかぬうちに隠れた危険!

火災危険の排除
家具転倒落下の移動防止
車庫内での事故防止



のつく日に深川ギャザリアで実施しています。

毎月8日は模擬消火器を活用した初期消火訓練、18日はAEDを活用した応急救護訓練、28日は起震車を活用した身体防護訓練を実施しています。

問合せ先
深川消防署 警防課 地域防災担当
TEL 03-3642-0119

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

East 21 ホテル イースト21東京
オークラホテルズ&リゾーツ
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか分らない」

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9
HF門前仲町ビルディング4階

宮内元副団長 叙勲受章祝賀会

この度は、瑞寶單光章ご受章おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

奇しくも天皇陛下御即位と同日に受章お祝い会が催されましたことは、後々までも記憶に残ることと思います。これもひとえに宮内様が長年消防団活動に携わり、地域住民の安全安心にご尽力された功績が広く認められたことによる栄えある受章と存じます。私たち消防団員にとりまして大きな喜びであり誇りでもあります。

また入団促進活動にも貢献され、我々第5分団には宮内様からの勧誘を



受けて入団した方が多数在籍しております。特に、操法大会では基本動作からの確に御指導していただき、そのお心配りに感謝いたしております。第5分団を代表してお礼申し上げます。(第5分団 分団長 植原 信義)

表彰者の紹介

◆東京都消防褒賞

- 第4分団 部長 藤井 康誠
第5分団 副分団長 渡邊 斉

◆消防総監賞

〈功績表彰〉

- 第2分団 副分団長 佐竹 哲治
第2分団 副分団長 飯田 英貴
第9分団 副分団長 小濱 利典

〈優良表彰〉

- 第1分団 部長 榊原 弘行
第2分団 部長 菊池 邦明
第3分団 団員 出口 慎吾
第3分団 団員 押山 佐知子
第4分団 部長 川北 直人
第5分団 部長 高橋 佳久
第6分団 部長 岩崎 龍太郎
第6分団 部長 岡野 弘之
第6分団 団員 滝沢 靖史
第7分団 部長 山本 憲一

〈防災訓練功労〉

- 第8分団 分団長 堀川 昌裕
第8分団 部長 城田 陽造
第9分団 副分団長 小濱 利典

◆江東区長賞

〈勤続40年〉

〈勤続35年〉

- 第9分団 部長 石山 一美
第9分団 班長 鶴野 博
団本部 副団長 赤澤 光幸
第3分団 分団長 大野 浩一
第4分団 部長 藤井 康誠
第9分団 副分団長 小濱 利典

〈勤続30年〉

- 団本部 副団長 鳩貝 裕幸
第2分団 副分団長 佐竹 哲治
第9分団 部長 丹野 欽也

〈勤続25年〉

- 第2分団 部長 小島 栄一
第3分団 部長 大澤 昇
第4分団 副分団長 佃 康次郎
第9分団 副分団長 森田 嘉智

〈勤続20年〉

- 第4分団 部長 皆川 義則
第7分団 分団長 木本 昌次

◆深川消防署長表彰

〈成績優良分団〉

◆深川消防団長表彰

〈成績優良分団〉

- 第1分団、第2分団、第8分団



さきもり編集委員

Table with 4 columns: 分団名, 職務, 氏名, 名. Lists committee members across various divisions.

編集後記

昨年10月と11月に行われた即位礼正殿の儀や祝賀御列の儀は圧巻のもので「令和」という新しい時代に入ったことを実感することになりました。その新しい時代である今年には東京オリンピック・パラリンピックやオリンピックとパラリンピックの合間を縫って実施される富岡八幡宮例大祭などの大規模なイベントを控えており、我々も消防特別警戒などでの裏方としての活動が日本国内のみならず、世界中から期待されています。

また、昨今の台風による被害は甚大で消防団に対する期待が今まで以上に強くなってきています。この新しい時代に世界へ羽ばたく「深川」の安全安心を深川消防団全員の力で守っていきましょう。

(第2分団 今井 寛隆)